



I 社会的背景と求められる人間像、育成する児童像（目的）

これからの社会は、Society5を迎え、I to T(Internet of Things)で全ての人とモノがつながり、人口知能(AI)の飛躍的な進化とともに、将来の変化を予測することが困難な時代に直面する。また世界では、気候変動、飢餓、紛争、格差、感染症といった国境を超えた課題が山積し、持続可能な社会の創造が求められている。

このような社会的背景及び地域・児童の実態を踏まえ、これからの学校教育には、日本人としてのアイデンティティをもちながら、異なる言語・文化・価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力、課題に対し協働して問題解決を図っていく能力、共によりよく生きようとし、持続可能なこれからの社会の創造を担う人間の育成が求められる。

自らの人生を自らの力で切り拓き、持続可能な社会の創造を担う人間の育成

- 知 自ら学び考え・判断し、協働して問題解決を図る子を育てる。
- 情 自分のよさを見つめ、他者を尊重し、共によりよく生きる子を育てる。
- 意 自らすすんで挑戦し、最後までやり遂げる子を育てる。
- 体 自らすすんで心と体をきたえ、たくましく生きる子を育てる。

II チーム拝二小〈学校組織体制・学校観〉

拝二小学校組織は、「ワーキンググループ」ではなく、ビジョンを共有し、共通の目的・目標・アプローチの仕方を共通理解・実践できる「チーム」となる。

ザ・チーム拝二小 One for all. All for one. ONE TEAM.
子供の成長を教育活動のど真ん中におく！

- 学校は失敗するところ！
- 授業は子供が主人公！
- 教室は間違えるところ！
- 誰一人取り残さない！

III 拝二小教職員として子供へのメッセージ

- 平和の大切さ、戦争・核の悲惨さ！
 - ・ 核抑止力に基づく平和⇒相互不信に基づく偽りの平和
 - ・ 真の平和とは：⇒核抑止力ではなく相互信頼に基づいた核なき平和
- ☆ 人間の使命は知恵を絞って戦争を避けることにある。
- 民主主義を大切にす！〔絶えず批判的(critical)に捉える・主体的に参画していく〕
 - ・ 民主主義というのは、実は危険な仕組みであって、一時的な激情に駆られて暴走しやすい。20世紀の独裁政権の多くはドイツでもイタリアでもフランスでも、民主的な手続きを経て合法的に成り立っているのである。民主主義にとって多様性から、いかにして集合的な意思を形成する重要である。
- 持続可能な社会を創造する！
 - ・ 持続可能な社会を創造していくためには、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)1を達成する必要がある。17の目標(Goal:グローバルかつローカル), 169の対象(Target), 232の指標、学習原理：地域社会：現状把握⇒課題の把握+17Goalと結び付ける⇒解決策の立案⇒実践⇒評価⇒改善 ⇒現状把握⇒課題の把握+17Goalと結合…深め・広げながら不断に学び続ける…